

2023 年度 立命館大学文学部

キャンパスアジア・プログラム

入学前募集 参加者募集要項



募集説明会 2023年2月20日(月)・2月24日(金)

応募期間 2023年2月20日(月)～3月6日(月)

(締切日必着)

1 立命館大学文学部キャンパスアジア・プログラムについて

立命館大学文学部キャンパスアジア・プログラム（CAP）は、立命館大学・広東外語外貿大学（中国・広州）・東西大学校（韓国・釜山）・立命館アジア太平洋大学（APU）の4大学が共同運営する4年間のプログラムです。

日中韓の3カ国を移動しながら、3カ国の学生がともに学び、東アジアに関わる知識や実践的な中国語・朝鮮語・英語の能力を身につけていきます。

このプログラムは、2022年度よりプログラムをリニューアルして、3つのコース制となりました。

①キャンパスアジアコース（従来の中韓に2カ国2年留学するコース）、②アジアグローバルコース（キャンパスアジアコースに参加している学生から選抜し、4学期のうち1学期をAPUで学ぶコース）、③インテンシブアジアコース（中韓に1学期ずつ1年のみ留学するコース。APU学生のみが対象で、立命館大学学生の募集はありません）です。

入学前募集では、①キャンパスアジアコースのみが募集対象となります。

キャンパスアジアコースでは、1年次で派遣前学習を行います。通常の学部カリキュラムに加えて、中国語・朝鮮語の特別授業や演習授業を受講し、中韓留学にそなえます。2年次・3年次では「移動キャンパス」として、広東外語外貿大学（中国）と東西大学校（韓国）に1学期ずつ交代で2年間留学します。両大学で、共同運営に参加する4大学の学生が共同学習を行い、現地の社会・文化・歴史などを現地の言葉で学ぶ、という例をみない国際教育プログラムです。そして4年次では、それまでに学んだ成果の集大成として卒業論文を執筆します。

また、キャンパスアジアコースの学生は、移動キャンパスに1年間参加したのちに、実践的な英語力を養うために1学期をAPUで学ぶ「アジアグローバルコース」に応募することができます。

以上のように本プログラムでは、2カ国に2年間留学する4年間の国際教育プログラムとして、キャンパスアジア担当教員による指導などを通じて、派遣前学習から卒業までを一貫してサポートし、留学の成果を最大限に引き出し、グローバル人材として活躍するための高度な専門性と実践的語学力・コミュニケーション能力を身につけます。

本プログラムに最後まで参加して「東アジアグローバルリーダー」となる、意欲ある学生を募集します。

2 キャンパスアジア・プログラムの3つのコース

キャンパスアジアコース（CAコース） <入学前募集の対象>

中国・韓国に1年ずつ2年間留学するコース。

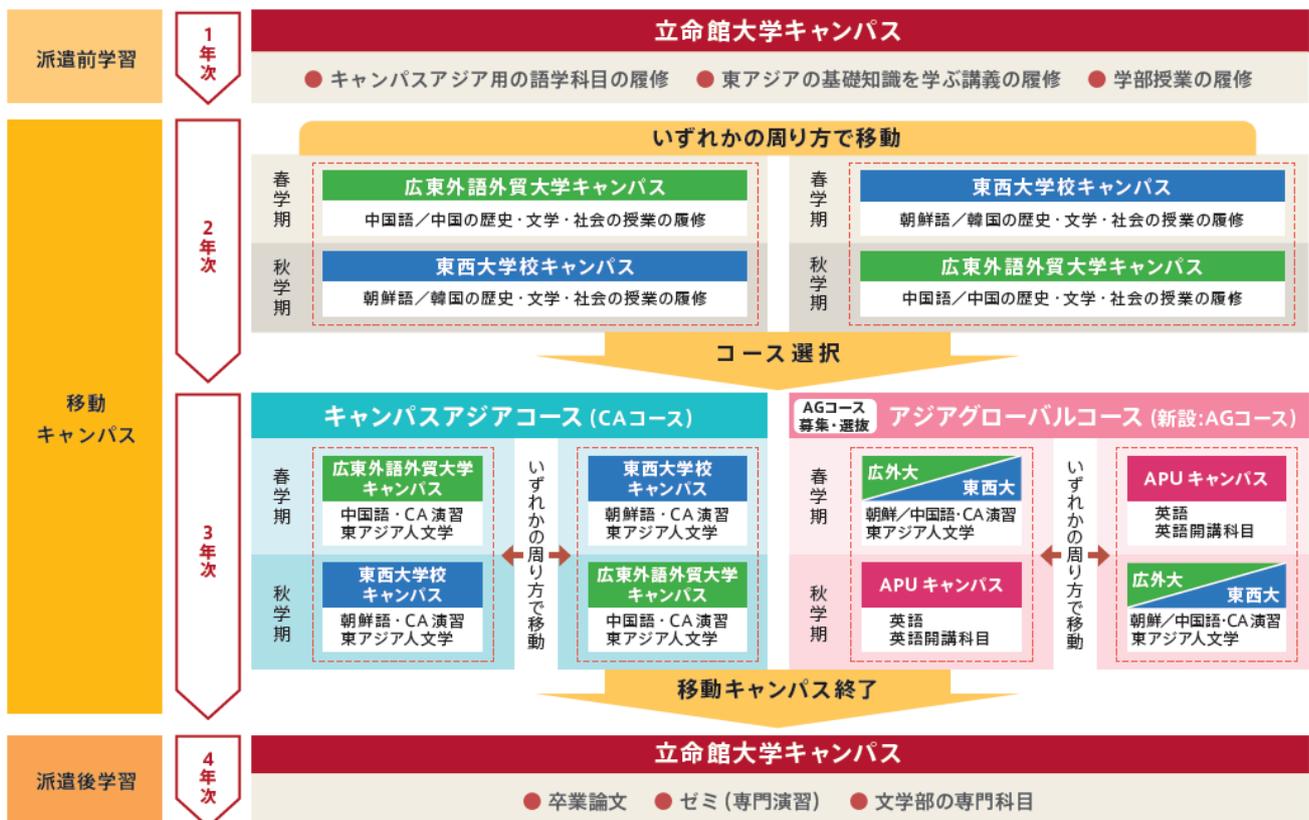
アジアグローバルコース（AGコース） ※入学前募集の対象ではありません。

2年間4学期のうち3学期は中韓に留学、1学期は立命館アジア太平洋大学で英語を学ぶコース。キャンパスアジアコース参加者から選抜します。

インテンシブアジアコース（IAコース） ※立命館大学学生の募集はありません。

立命館アジア太平洋大学の学生が中国・韓国に1学期ずつ1年間留学するコース。

キャンパスアジア・プログラムの学習モデル



3 キャンパスアジア・プログラム参加希望者に求める人物像

以下の項目にできるだけ多く該当していることが望ましい。

- ・東アジアの歴史、文化、言語などに強い関心を持ち、東アジアが抱える諸問題をグローバルな視点で理解・解決しようという意欲を備えていること。
- ・中国・韓国両国での長期留学について強い志望を持っていること。
- ・立命館大学および広東外語外貿大学・東西大学校・立命館アジア太平洋大学で勉強したいことについて、明確な計画を立てていること。
- ・自主性・自律性があり、課外活動等に積極的に取り組んでいること。
- ・国内外での異文化交流経験があること。
- ・卒業後、東アジアを中心に、国際的視野で活躍するキャリアビジョンと可能性を有していること。

4 募集対象学域

学部	学科・学域・専攻
文学部	全学域 ※国際コミュニケーション学域は対象外

※人間研究学域・地域研究学域の入学予定者は、P.6「10 外国語選択について」の注意点をご参照ください。

5 募集人数

18名

※募集人数は、対象となる入試方式全て、ならびに附属校学内進学者からの推薦制度の合計です。

応募状況および審査結果によっては、合格者数は募集人数を下回ることがあります。

6 応募資格

2022年度立命館大学入学試験に合格し、文学部への入学意志を持つ者。

※国際コミュニケーション学域への入学予定者、および以下の入試方式での合格者は対象外です。

後期分割方式／共通テスト方式 5教科型（3月選考・後期型）、3教科型（3月選考・後期型）、4教科型／文化・芸術活動に優れた者の特別選抜入学試験／スポーツ能力に優れた者の特別選抜入学試験／外国人留学生入学試験（前期実施・後期実施）／学内特別選抜入学試験

7 応募に必要な書類

- (1) 志願票（本学所定用紙：書式 A）
- (2) 住所ラベル（本学所定用紙：書式 B）
- (3) 志望理由書
- (4) 高等学校調査書等
 - ① 高等学校または中等教育学校の卒業者・卒業見込者
⇒「調査書」 ※厳封したもの。
※①に当てはまらない者は、以下②③のうち該当するものを提出してください。
 - ② 外国の学校出身者
⇒「修了（見込）証明書」および「成績証明書」 ※厳封したもの。
 - ③ 高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定の合格者
⇒「合格成績証明書」（または合格証明書）
- (5) 中国語・朝鮮語能力試験等の合格通知書のコピー等（取得している場合）

以下の検定試験に合格している場合やコンテスト出場時の以下の条件に合致している場合は、合格通知書等のコピーを提出してください。複数の種類の証明書の提出も可能です。

 - ① 中国語検定試験の合格証明書
 - ② HSK（漢語水平考試）筆記試験の成績証明書
 - ③ 韓国語能力試験（TOPIK）の成績証明書
 - ④ 「ハングル」能力検定試験の合格カード
 - ⑤ 各団体等で実施している各種の中国語スピーチコンテストの参加証や受賞した賞の表彰状のコピーなど
 - ⑥ 各団体等で実施している各種の朝鮮語スピーチコンテストの参加証や受賞した賞の表彰状のコピーなど

8 応募受付

- (1) 応募書類の送付

必要書類を揃えた上で、簡易書留郵便で送付してください。

 - * **応募書類に不備がある場合は、書類を受理しません。**
 - * 応募書類の返却はできませんので、あらかじめご了承ください。
 - * 応募書類を送付する際の封筒は任意のもので構いません。

(2) 応募期間

2023年2月20日（月）～3月6日（月） ＜締切日必着＞

(3) 応募先

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

立命館大学文学部事務室 キャンパスアジア事務局

※応募に費用は発生しません。なお、郵送料は自己負担となります。

(4) 面接案内書の発送

応募期間終了後、面接案内書を応募者本人宛に発送します。

面接案内書の発送日は2023年3月中旬を予定しています。

9 選考方法・スケジュール

(1) 選考方法

「1 キャンパスアジア・プログラム参加希望者に求める人物像」に記載の内容を基準に選考します。

書類選考および面接選考を総合的に評価した上で、合格者を決定します。

なお、面接選考は個人面接となります。

※面接は原則として日本語で行います。

(2) 選考スケジュール

2023年2月20日（月） 2023年2月24日（金）	募集説明会 * 詳細については、2023年2月上旬頃にキャンパスアジア・プログラムホームページに掲載します。
2023年2月20日（月）	応募受付開始
2023年3月6日（月）	応募受付締切（締切日必着）
2023年3月23日（木）	面接 * 選考対象者が多数の場合、3月24日（金）にも面接を実施することがあります。
2023年3月27日（月）	合格通知送付

(3) 面接会場

立命館大学 衣笠キャンパス

(集合時刻・集合場所は別途、面接案内書にてお知らせします。)

10 外国語選択について

立命館大学では、インターネット入学手続きで「外国語選択」の登録を行います(詳細は入学手続要項をご確認ください)。キャンパスアジア・プログラムの参加許可者は、原則、「外国語選択」の際、中国語・朝鮮語の両言語を選択してください。

なお、「外国語選択」において、人間研究学域に入学した学生はドイツ語・フランス語のどちらかを、地域研究学域に入学した学生は英語を選択する必要がありますが、キャンパスアジア・プログラムの参加許可者は、中国語・朝鮮語の両言語の選択が優先されます。

- * 入学手続きの「外国語選択」時に両言語を選択していない場合は、本プログラムの合格後に変更を認めます。
- * 中国語・朝鮮語の既修者については、正課初修外国語の科目に代えて、各言語の既修者対応プログラムに申し込むことが可能です(適正判断が行われる場合があります)。既修者対応プログラムの手続きについては、プログラムの合格通知で案内します。なお、既修者対応プログラムは、第1・第2外国語のどちらかしか受講できません。
- * 中国語・朝鮮語の両言語のうちいずれか、もしくは両方の語学修得レベルが極めて高い場合は、各学域で履修が認められているその他の語種の選択を希望できます。その他の語種の選択を希望した場合は、選考面接時に中国語・朝鮮語の語学能力を確認のうえ、許可された場合のみ、その他の語種を受講できることとなります。

11 キャンパスアジア・プログラム参加決定者ガイダンス

2023年4月の新入生オリエンテーション期間にキャンパスアジア・プログラム参加者対象のガイダンスを行いますので、合格者は必ず出席してください。

日時・場所等の詳細は、プログラムの合格通知で案内します。

12 キャンパスアジア・プログラム派遣前学習科目の受講について

キャンパスアジア・プログラム参加者は、1年次に文学部開講科目に加えて、派遣前学習として以下の科目を開講します。

内容は、立命館大学ホームページからオンラインシラバスで参照できます。文学部の授業と並行しながらキャンパスアジア・プログラム科目を履修します。

<立命館大学オンラインシラバス検索 URL>

<http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/gaku/onlinesyllabus.htm>

【派遣前学習科目一覧】

科目区分	科目名	単位数	備考
外国語科目	中国語・基礎	2	文学部必修の外国語科目 既修者対応プログラム許可者は別途既修者対応プログラムを受講
	中国語・表現Ⅰ・Ⅱ	各1	
	中国語・展開	2	
	朝鮮語・基礎	2	
	朝鮮語・表現Ⅰ・Ⅱ	各1	
	朝鮮語・展開	2	
	中国語（キャンパスアジア） Ⅰ・Ⅱ	各1	キャンパスアジア・プログラム参加生用に開講
	朝鮮語（キャンパスアジア） Ⅰ・Ⅱ	各1	
専門科目	現代東アジア言語・文化概論Ⅰ	2	韓国・中国の文化・社会・歴史等について学ぶ概説科目
	キャンパスアジア演習Ⅰ・Ⅱ	各2	キャンパスアジア・プログラム参加生用に開講。中国・韓国に関わる専門知識を習得することを目的とし、演習形式で開講

<参考>履修モデル・留学中の学費・奨学金・協定校について

(1) 履修モデル

以下のような取得単位の目安で履修します。

	1年次	2年次	3年次	4年次
立命館大学	52 単位程度	60 単位を上限に認定 その他帰国時に 4 単位程度履修		18 単位程度

↑ 単位認定

広東外語外貿大学 東西大学校 APU		70 単位程度	
--------------------------	--	---------	--

※各学域・専攻ではそれぞれ必修科目（卒業するために必ず単位を修得しなければならない科目）が設定されています。

(2) 交換留学の費用

2・3年次の移動キャンパス中（留学期間中）でも、立命館大学の学費を所定の期日までに納入する必要があります。

留学先大学の学費は、交換留学協定に基づき免除されます（ただし、留学先大学で履修する科目によっては受講料等が自己負担となる場合があります）。

自己負担が必要な経費としては、宿舍、食費、渡航費、保険料、ビザ申請料、書籍代等の費用があります。月々の生活費は、派遣国、各自の生活スタイル、為替、物価によって大きく異なります。

(3) 奨学金制度

立命館大学では、キャンパスアジア・プログラム派遣者に対して、「立命館大学海外留学チャレンジ奨学金」等を支給します。

【立命館大学海外留学チャレンジ奨学金】

2022 年度実績：1 名あたり、韓国派遣 25 万円・中国派遣 15 万円（いずれも 1 学期間（半年間）の金額）

(4) プログラム共同運営大学について

《広東外語外貿大学》

広東外語外貿大学は、1995年5月に広東外国語学院（1964年設立）と広州対外貿易学院（1980年国家外経貿部（現在の商務部）直轄の学校として設立）の合併によって設立された。国際化に特色を持つ広東省の重点大学であり、中国南部の国際的人材の育成、外国の言語・文化、対外貿易、国際戦略研究の重要な教育・研究機関である。

中国南部の経済的中心である広州に4つのキャンパスを有し、文学・経済学・管理学・法学・工学・理学・教育学・芸術学の8つの学科のもと、25の学院、67の学位コースを設置している。特に外国語教育に関しては、合計28の外国語コースがあり、中国南部においては最も語種の多い教育機関である。2020年12月の学生数は、学部生約20,000人、大学院生約4,000人にのぼり、外国からの留学生（短期・長期を含む）は23,000人を超える。教職員の総数は約2,100人（専任教員約1,400人）であり、加えて約60人の客員教授、約100人の外国人教員も所属している。

大学の教育目標は「明德尚行、学貫中西（才徳兼備と品行方正、学問は世界に通じる）」であり、グローバル時代に活躍できる人材を育成するため、専門教育と外国語教育を高度に融合させ、異文化コミュニケーション能力と独創性を高める教育をおこなっている。また、日本・韓国・アメリカ・イギリスなど、56の国・地域における合計475の大学や学術機関と交流関係があり、学生の留学や教員の研究において高い国際的水準を有している。日中韓の首脳が提唱したキャンパスアジア・プログラムには、外国語大学として唯一選定されている。

《東西大学校》

東西大学校は、1970年に創立者の張聖萬氏が設立した東西学院が起源の私立大学である。東西学院は慶南専門大学を経て、1992年3月には東西工科大学に、1993年3月には東西工科大学校に改編された。現在の名称である東西大学校に改編されたのは1996年3月である。設置者の学校法人東西学院は東西大学校の他に慶南情報大学及び釜山デジタル大学校を運営している。特性化、情報化、グローバル化の3大戦略を掲げ、15学部75専攻で約11,000名の学生が学んでいる。地域産業と連携した教育特性化を推進し、AR/VRによる体験型授業、対面・非対面混合授業、AIチューティングシステムなどの導入をいち早く打ち出し、コロナ後の新たな大学教育を見据えたITキャンパスの充実振りは韓国の大学内でもトップクラスである。

また、米国、中国にもキャンパスを設立するなど、学生が韓国以外でも学べる環境を整え、様々なグローバル教育を実践している。特に、中国・武漢市に設立された韓中合作大学には映像コンテンツ学科とビジュアルコミュニケーションデザイン学科が設置され、韓国教育を海外に輸出する前進基地的役割を果たしている。世界42ヶ国237大学、都市および研究所

との活発な交流および世界有数の企業とのインターンシップ契約締結など、国際交流および協力面においても多彩な国際プログラムを充実させ学生に提供している。韓国の大学としては早期に日本研究センターを設立し、文化交流事業や日韓次世代学術フォーラムなど、日本との活発な研究交流を行っており、韓国における日本研究の中心として高く評価されている。

《立命館アジア太平洋大学》

立命館アジア太平洋大学（APU）は、「自由・平和・ヒューマニティ」「国際相互理解」「アジア太平洋の未来創造」を基本理念として、2000年に学校法人立命館が大分県別府市に設置した大学である。世界市民の育成を目的として、これまでにない全く新しい多文化学習環境を築いてきた。開学以来、世界150を超える国・地域から学生が集い、現在、約3,000名の国内学生、約2,500名の国際学生が、国や文化、宗教、政治、価値観等の違いを乗り越え、ともに暮らし、世界が直面する複雑な課題の解決を目指し学んでいる。

ほとんどの講義を日本語と英語で開講するアジア太平洋学部（APS）、国際経営学部（APM）の学士課程と、すべての講義を英語で開講するアジア太平洋研究科（GSA）博士前期・後期課程と経営管理研究科修士課程（MBA）を擁している。そのほか、開学に先立ち、立命館アジア太平洋研究センター（Ritsumeikan Center for Asia Pacific Studies: RCAPS）を設立し、アジア太平洋地域の持続的発展と共生を実現するための政策志向的な新しい教育研究領域である「アジア太平洋学」を構築することを基本目標の一つにしている。

現在、74か国・地域、485の大学・研究機関と協定を締結し、うち51か国・地域、163の大学・機関と交換留学プログラムを実施しており、また、韓国、米国、オーストリア、フランスの4大学と学部レベルの共同学位プログラム（DDP）も実施している。

世界的にもユニークな多文化・多言語環境の大学として評価されている。

【キャンパスアジア・プログラムに関するお問い合わせ先】

立命館大学 文学部事務室 キャンパスアジア事務局

電話：075-465-8187（平日9：00～17：30） <https://www.ritsumei.ac.jp/campusasia/>